

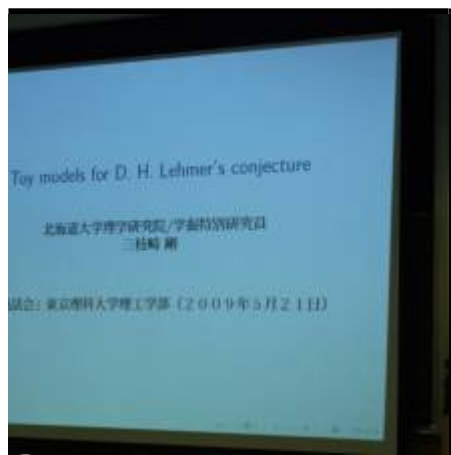
第05回

- 講演者: 三枝崎 剛 氏 (北海道大学)
 - 題目 Toy models for D.H. Lehmer's conjecture
 - 日時: 平成21年5月21日(木) 16:30~17:30

$\Delta(z) = q^2 \prod_{m \geq 1} (1 - q^{2m})^{24} = \sum_{m \geq 1} \tau(m) q^{2m}$ をラマヌジャンのデルタ関数とします。Lehmer 予想(1947)とは, 「全ての正整数 m で $\tau(m) \neq 0$ だろう」, という予想です。

ここで E_8 を E_8 格子とします。その時 (L_{2m}) (ノルムが $2m$ の点の集合) は, 球面 S^7 -デザインになっている事が知られています。更に, 球面 S^8 -デザインになる事と, $\tau(m) \neq 0$ は同値である事が, Venkov によって示されました。つまり Lehmer 予想は球面デザインの問題に言い換えられます。

本講演では $\mathbb{Z}^2$ 格子を取り上げて Lehmer 型の問題を考えます。そして, この場合には Lehmer 型の問題が証明できる, というお話をしたいと思います。



.lg-outer.lg-pull-caption-up.lg-thumb-open .lg-sub-html {bottom:80px;}

23 images

[<6>]

From:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/seminar/2009/005>

Last update: 2017/11/17 11:46

